

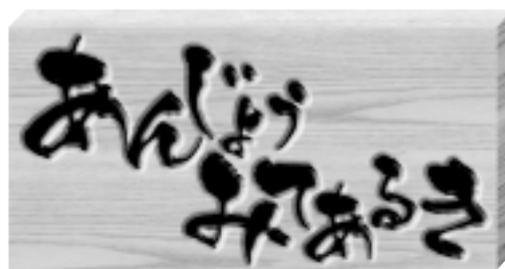
村高の人々の 心が集まった樹

空に突き抜けんとするわけでもなく、また、天を覆わんとするわけでもなく、ただただおおらかに、そして雄大にどっしりと腰をおろしている。

矢作川堤防を走り村高町にさしかかると、小さく盛り上がった小高い丘の上で、扇型の羽を広げているかのような二本のクスの樹が目に入ります。これが、村高の大クスの樹で、昭和49年に市の天然記念物に指定されました。

この村高も含めた矢作川周辺には、川まつわりのいくつもの神話や言い伝えなどが残されており、その中にこの樹も登場します。こうした逸話は、この樹が大きさに比例して長い歴史を持っていることを感じさせてくれます。

そして、この樹は矢作川の大流の脇に身を構え洪水から人々を守る神として、信仰の対象にもなっているのです。



その13

村高の大クス(二樹)